

院長から

青梅市病院事業管理者兼院長 原 義人

平成29年の特集号にて、青梅市立総合病院(以下、当院)は、高度急性期医療、高度専門的医療、政策的医療、医療連携、教育・研修の充実に努力していくことについて述べました。それらの機能を十分に発揮していくために新病院建設が必要であり、現在その計画が粛々と進行しています。新病院建設には多額の資金が必要であることから、果たして病院の経営状態は大丈夫なのかと心配する方もいることでしょう。今回は主に経営面に焦点を当て、当院の現状を説明します。

1. 平成8年度から連続22年間黒字を継続

当院は、平成29年度決算でも黒字を計上し、8年度以来連続22年間黒字を継続しています。22年間も連続黒字の公立病院は非常にまれです。このような良好な経営状況から、15年度と26年度の2回、自治体立優良病院として総務大臣表彰を受賞しました。また、14年度と24年度には自治体立優良病院として全国自治体病院協議会ならびに全国自治体病院開設者協議会、両会長表彰も受賞しました。

右の表は29年度決算を簡単にまとめたものです(表の単位は億円)。

収益合計は159.2億円で、医業収益141.5億円と医業外収益17.7億円に分けられます。医業収益は、入院や外来の診療報酬による収益で、収益全体の約90%を占めます。医業外収益には青梅市一般会計からの繰入金6.7億円が入ります。この繰入金は収益合計の4.2%に当たります。なお、公立病院は政策的医療や不採算医療を行うため、一般会計から繰入金を繰り入れることが法律的に許されています。繰入金は収益合計の10%を超えないことが目標となっており、当院の4.2%は三多摩公立病院の中でも最も低い比率となっています。

費用合計は158.3億円で、その約96%は医業費用です。そのうち、最近増加しているものが給与費と材料費です。給与費の増は、質の高い安全な医療を行うために種々の職員を増やしていることと、人事院勧告による給与引き上げ等の影響によるものです。材料費には薬剤費も含まれ、近年高額な薬剤が増えています。また、高度な手術などでは使用材料も高価となり材料費を引き上げています。

収益合計と費用合計の差が経常利益となり、29年度は約0.9億円の黒字でした。

収 益		費 用	
収益合計	159.2	費用合計	158.3
医業収益	141.5	医業費用	151.9
	内訳		内訳
	入院収益 92.9		給与費 81.0
	外来収益 46.1		材料費 40.3
	その他 2.5		経費 20.8
			減価償却費 9.3
			その他 0.5
医業外収益	17.7	医業外費用	6.4
	内訳		
	青梅市 6.7		
	その他 11.0		

2. 「市民の税金によって運営されている病院なのだから、市民を優先すべきだ」とのご意見について

前述のように当院には一般会計から6.7億円の繰入金が入っていますが、それは収益全体の4.2%の割合です。収益の大部分は職員の働きにより得た医業収益です。また、公立病院を持つ自治体には国から地方交付税が毎年交付されています。地方交付税は主に病床数を基準として交付される普通交付税と、精神、小児救急、救命救急センター、周産期、小児、感染症などに対して交付される特別交付税からなり、市へ措置されている額は一般会計からの繰入金よりも多い額となっています。つまり、市から当院への繰入金は、ほぼ全額が国から地方交付税措置されており、計算上市税はほとんど使われていないと言えます。従って、「市民の税金によって運営されている病院」との指摘は、そのままでは当てはまりません。この点については、ご理解をお願いします。当院の開設者は青梅市長です。当院は青梅市民の病院であることは間違いありません。各方面にわたって青梅市や青梅市民に大変お世話になっていることは言うまでもなく、ご協力に感謝しています。

当院の診療はほとんどすべて保険診療ですので、市民と市外の方を分けて対応することはできません。しかしながら普通分娩は自費であるため、市民の分娩費は市外の方よりも低額に設定しています。

以上、経営的側面から当院の現状を説明しました。皆さんから、より一層支持される青梅市立総合病院になっていくように引き続き努力していきます。

新病院基本設計がまとまりました!!

新病院建設事業は、平成26年度に基本構想を、28年度に基本計画を策定しましたが、このたび、29年11月から実施していた「新病院基本設計」が完了しました。なお、現在は実施設計を進めています。

新病院建設事業は、以下の6つの施設整備方針を掲げています。

- 救命救急センターのさらなる強化を図る病院づくり
現新棟から新たに建設する新南棟へ機能を移し、1階と3階に救命救急の関連部署を集約配置して、屋上ヘリポートと直結する救急専用エレベーターで迅速な救命救急活動を行っていきます。
- 高度急性期医療・高度専門医療を強化・拡充する病院づくり
臓器別センター化や地域がん診療連携拠点病院、血液疾患治療基幹病院、および周産期連携病院として小児救急体制の機能強化を図ります。さらに、救急病棟は集中治療室を数多く整備し、救急医療の機能を強化します。手術部門では、高度な手術に対応可能な手術室を10部屋に拡張し、ハイブリッド手術室や手術支援ロボット対応の部屋をつくり、最先端の医療技術に対応できるようにします。そして、放射線部門は、血管造影撮影とコンピュータ診断装置のアンギオCT室を整備して機能を強化するとともに、第二種感染症指定病院の機能も強化します。
- 災害に強い病院づくり
建物に免震構造を採用し、地震時の耐震性を強化します。万が一、災害が発生した場合にも多くの被災傷病者等を受け入れて処置できる設備を各所に整備していくと同時に、医療品や材料、食料、毛布等の備蓄倉庫を整備します。
- 地域の人々や職員に愛される病院づくり
入院前から退院後までの患者支援センターの整備や患者が安心できる療養環境を

整備します。また、スタッフの交流、食事、休憩スペースなどを整備し、病院職員の環境を充実します。

- 環境に配慮した病院づくり
省エネルギー設備の導入とともに、マイクロコージェネレーション設備や非常用発電機を設置します。
- 病院運営をしながらの安全かつ合理的な建替計画
現在の同一敷地内に建替え事業を行うことから、西棟と東棟をできる限り継続利用、無理のない建替え工事を計画していきます。



北側から見た新病院のイメージ

工事は、来年の秋から東棟北側に仮設棟を新築し、医療ガスや給水・電気等のインフラの盛り替え移設工事を行い、現在の南棟・南別館を解体します。

新南棟(仮名称)の建設は、2020年の後半に着手し、2023年5月にオープンする予定です。

その後、現新棟と接続する渡り廊下棟を建設するとともに、現新棟の内部改修工事を行います。

西棟および東棟を順次解体し、正面玄関の新設や外構を整備して、2026年8月頃のグランドオープンを目指します。

長期間にわたる建設事業となりますが、当院を利用される方々および地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

切らずに治す脳卒中 ～カテーテル・コイル・ステントとは～

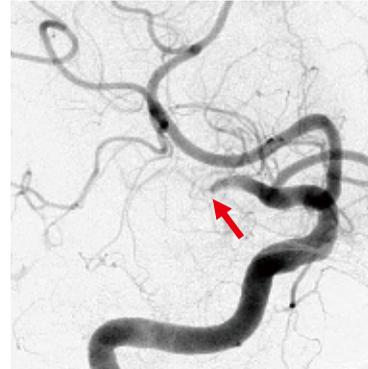
脳卒中センター

総合病院では平成30年4月に脳卒中センターを開設しました。頭を開けず、カテーテルなどを使う血管内治療で脳卒中を治すセンターで、脳神経外科と一体となって活動しています。いくつかの血管内治療について説明します。

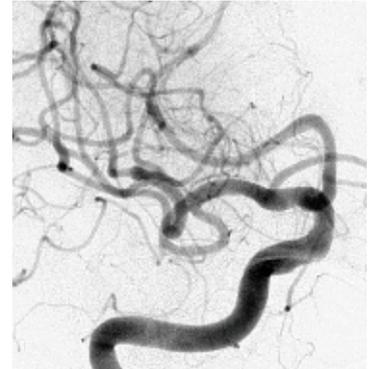
①**脳動脈瘤** 脳の血管にできるこぶのことで、破れるとくも膜下出血を起こし、命に関わることも多い病気です。破れる前に、あるいはくも膜下出血を起こした場合でも、カテーテルとコイルで治療します。カテーテルは細い管のようなもので、通常、足の付け根の血管から入れます。コイルは白金でできた細い金属の糸で、プラチナコイルと呼ばれます。このコイルをこぶの中に何本か入れて詰めます。これを**コイル塞栓術**と言います。大型や入り口が広い動脈瘤では、ステントも使います。ステントは柔らかい合金でできた網目状の筒で、動脈瘤の入り口に網をかけるように置きます。こうすると、動脈瘤内に詰めたコイルの隙間がでにくくなり、大きな動脈瘤でも治りやすくなります。

②**頸動脈狭窄症** あごのあたりで頸動脈が細くなって、脳梗塞を起こす病気です。高血圧や高コレステロールが原因です。頸動脈を切開する方法もありますが、脳卒中センターではカテーテルとステントを使って、細くなった頸動脈を広くします。これを**頸動脈ステント留置術**と言います。細かい穴（100ミクロンくらい）の開いたフィルターワイヤーなどを使います。

③**脳梗塞** 脳の血管が詰まる病気で、手足の麻痺や言語障害を起こします。心房細動といった不整脈のある方は要注意です。症状が起こったらできるだけ早く病院に運ばれることが大事です。症状が出てから4時間半以内なら、**t-PA（ティーピーイー）**という血栓溶解剤を注射して、血栓を溶かします。血栓が溶けない場合は、カテーテルとステント型器具で血栓を取り除く、**血栓回収治療**を行います（写真A→B）。時間がたつてからでは、血栓を取り除いても、脳出血が起きてかえって具合悪くなる危険性がありますので、しばらく様子を見ては間に合いません。当院ホームページより 脳卒中センター



A：血栓でつまった脳の血管（赤矢印）



B：血栓を取り除いたあと

SAS外来について ～あなたの隣で寝ている方、大きないびきをかいていませんか？～

呼吸器内科

いびきがひどく、そのいびきが急に止まったり起こったりしていると言われる方、朝起きても頭が重く、ぐっすり眠った感じがしない方、昼間やたらと眠気を感じる方は、「睡眠時無呼吸症候群（SAS）」かもしれません。

SASには、脳から呼吸の指令が来なくなる「中枢性SAS」と、元々のどが狭く、のどの奥の部分が就寝中に塞がってしまう「閉塞性SAS」の2種類がありますが、ほとんどの方は「閉塞性SAS」です。重症な方に限っても全国で300万人以上いると考えられ、決してまれな病気ではありません。

当院のSAS外来は、予約制です。予約は地域連携室へ直接お越しいただくかお電話で承ります。診察は、毎週月・火曜日の午後4時～5時です。

SASを放置すると、日中の眠気による交通事故・作業ミスなどのリスクが増します。また、無呼吸によって起こる低酸素状態の繰り返しや交感神経の緊張は、高血圧・脳血管疾患・心筋梗塞・糖尿病などの生活習慣病のリスクにもなります。

検査の結果、重症のSASと診断された場合には、医療機関から貸し出される「経鼻的持続陽圧呼吸療法（CPAP）」の機器を就寝時に装着します。SASは根治の難しい病気ですが、CPAPをつけた翌日から眠気のない快適な生活が送れ、また生活習慣病を予防することができます。

症状に心当たりのある方は、ぜひ受診をおすすめします。

骨密度検査、骨粗しょう症外来のご案内 ーいつのまにか骨折、寝たきりの予防をー

整形外科

骨粗しょう症とは、「骨がもろくなり、骨折の危険性が増加する疾患」です。現在のわが国の平均寿命は、男性が80歳、女性が87歳を超え、今後もさらに伸び続けると予測されています。骨粗しょう症は男女とも加齢とともに有病率が上昇し、70歳代以上の女性では4割以上が有し、現在、わが国の骨粗しょう症患者数は男性約300万人、女性約980万人、計約1,280万人と推定されています。

骨粗しょう症に伴う骨折の好発部位は多いものから、背骨（脊椎椎体）、もものつけね（大腿骨近位部）、手首（橈骨遠位端）が挙げられます。「転ぶ」、「しりもち」などの軽微な外傷でこれらの骨折を生じるのが骨粗しょう症ですが、きっかけもなく腰が痛い、背中が丸い、背が縮んだといった症状で、背骨の骨折を「いつのまにか」生じていたという現象も骨粗しょう症によるものです。背骨やももの骨折は、超高齢社会の現在、「歩行困難⇒寝たきり⇒要介護」という構図につながる、身近な、喫緊の予防すべ

き大問題なのです。

最も意識していただきたいことは、皆さんが血圧や血糖値を測るように、骨折の危険性につながる「骨密度」を測って、骨粗しょう症の意識を持つということです。

「骨密度を定期的に測る⇒骨折予防の意識を持つ⇒適切な薬物治療を行う⇒骨密度が上がる⇒骨粗しょう症により引き起こされる骨折を予防⇒寝たきりや活動度低下が予防できる！」という当たり前のことを、皆さんの現実としてしっかりと受け止めていただきたいと思います。まずは、かかりつけ医へご相談いただき、当院の「整形外科骨粗しょう症外来（予診）」の予約を取り、**骨密度検査**を受けてください。当科で病態説明、治療内容説明などを行います。骨粗しょう症の相談、骨密度検査について、ご不明な点など、ぜひ当院整形外科外来へ、お問い合わせください。

お祝い膳が新しくなりました！

栄養科

栄養科では産後4日目の方に「お祝い膳」をお出ししています。

今年3月から国際中医薬膳師監修によるお祝い薬膳料理にリニューアルしました。

中医学では、産後は「気」(生命活動の源)、「血」(全身の栄養素)、「腎」(成長、生殖、発育を司る)のエネルギーが不足気味になると言われています。

そこで、栄養バランスを考え、「気」、「血」、「腎」を補う食材を料理に取り入れました。

ぜひお召し上がりください。



食事相談を受けてみませんか？

～生活習慣病栄養指導外来のご案内～ 栄養科

糖尿病や高血圧、脂質異常症などの生活習慣病は、生活習慣の見直しと改善が基本であり、糖尿病治療では、薬よりも食事と運動をまず見直したいところです。

当院では生活習慣病の栄養指導を行っており、かかりつけ医からの紹介で受けることができます。

①**初めて糖尿病を指摘された方**

②**すでに治療中でHbA1cが悪化してきた方**

※HbA1c（ヘモグロビン・エイワンシー）は過去1～2カ月の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断に用いられるとともに、血糖コントロール状態の指標となります。

薬を始めたり、増やす前にぜひ食事を見直しませんか？



MRI装置が新しくなりました

放射線科

MR I (Magnetic Resonance Image : 磁気共鳴画像) 検査とは、非常に強力な磁石でできた筒状の装置に入り、磁気や電波を利用して人体の様々な部位を撮影する検査です。当院においては、現在2台のMR I 装置が稼働していますが、老朽化のため、このうち1台を4月に新しく更新しました。

この装置には最新の撮影技術が導入されており、質の高い検査を行えるようになりました。また、検査の時に多くの患者さんが苦痛に感じていた「狭い」、「うるさい」、「怖い」、「長い」などを少しでも和らげることができるよう、検査室や待合室の環境面にも配慮しました。

当院では、今後とも皆さんによりよい医療を提供できるよう努めていきます。



一時預かりについて

管理課

当院職員向け院内保育所「うめっこはうす」では、外来受診者のお子さんを対象に一時預かりを行っています。ご利用には、事前面談・登録が必要です。

保育場所：院内保育所「うめっこはうす」
当院から徒歩1分

対象者：当院外来受診者を保護者とする乳幼児（生後57日～2歳児）
※診療の予約をしており、その当日にお子さんを預ける必要がある方に限ります。

定員：2人（先着順）

利用日時：月～金曜日 午前7時30分～午後6時30分
※祝日、12月29日～1月3日を除く

利用料金：はじめの1時間まで500円、以後30分経過

するごとに250円
※上記の金額に別途消費税がかかります。

利用までの流れ

- ①利用登録申請書を管理課庶務係へ提出し、面談日を予約してください。
※申請書は、当院ホームページからダウンロードできます。また、管理課庶務係でも配布しています。
- ②面談日に、お子さんと一緒に院内保育所にお越しください。
※面談の結果により、ご利用いただけない場合があります。
- ③登録承認後、保育所利用の予約をします。
※利用希望日の1か月前から予約できます。



お薬手帳のこと

薬剤部

こんなこと、ありませんか？

- ほかの医療機関などからもらった薬の飲み合わせや重複が心配…。
- 副作用、アレルギーなどの情報を病院や薬局に伝えて生かしてもらいたい。
- 緊急時や災害時、自分の服用している薬を正しく言えるか心配…。

お薬手帳とは

ご自身が使っている薬の名前・量・日数・使用方法などを記録できる手帳です。副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気、体調の変化などについて記入できます。



お薬手帳を活用しましょう！
お薬手帳は、皆さんの健康を守る大事な情報源です。

1. 重複投与や相互作用の防止

病院や薬局で「お薬手帳」の記録をみてもらいましょう。同じような薬の重複、飲み合わせの悪い薬を避けることができます。

2. 副作用の再発防止

体に合わない薬を記入しておきましょう。同じ薬が処方されるのを避けることができます。

3. 災害時や旅先での急病など

災害時や旅先での急病やケガでも、現在服用している薬が分かるので安心です。

4. メモ帳

薬を飲んで気づいたことをメモしておきましょう。薬の服用と関係しているかどうか確認することができます。

その他

- ・お薬手帳は医療機関ごとにはせず、一冊にまとめましょう。
- ・入院時には「お薬手帳」をお持ちください。使用中の薬の確認ができ、安全な使用につながります。
- ・当院でもお薬手帳の発行を行っています。ご希望の方は、お申し出ください。

診療等に関する説明の時間について

管理課

病院に勤務する医師の長時間労働・過重労働が社会的に問題視されています。当院でも働き方改革の一環として、医師による診療等に関する説明を原則として平日午後5時まで終了します。（平日の夜間、土・日曜日、祝日は実施しません。）
皆さんのご理解とご協力をお願いします。
なお、緊急時や診療の状況などによっては、この限りではありません。

おうめ健康塾と病院見学会

地域の皆さんを対象に、病気や医療について知識を深め、健康増進・医事に役立てていただけるように健康講座「おうめ健康塾」と「院内見学会」を開催しています。ぜひご参加ください。

平成30年度開催予定			
日程	時間	題名	講師
1月 23日(水)	午後 2時～3時	お薬の賢い使い方	薬剤部 部長 松本雄介
2月 20日(水)		脳卒中になる前となったとき～本人・家族の心がまえ～	脳卒中センター センター長 戸根 修
3月 8日(金)		スキンケアについて	皮膚科 医師 中井悠斗
平成31年度開催予定			
4月 24日(水)	午後 2時～3時 (予定)	卵巣 ^{がん} のお話し	産婦人科 部長 小野一郎
5月 実施予定		放射線治療～放射線治療を安心して受けていただくために～	放射線科 診療放射線技師 伏見隆史
6月 実施予定		認知症の予防とつきあい方	看護局
7月 実施予定		健康体操	リハビリテーション科
9月 実施予定		生活習慣病予防の食事について	栄養科
10月 実施予定		インフルエンザ予防と対策	看護局
11月 実施予定	生活習慣と検査結果について	臨床検査科	
平成30年度開催予定			
日程	時間	内容	
1月 23日(水)	午後 2時30分 ～4時30分	●院長による病院の概要説明	
3月 実施予定		●ヘリポート、救急救命センター、屋上庭園などの見学	

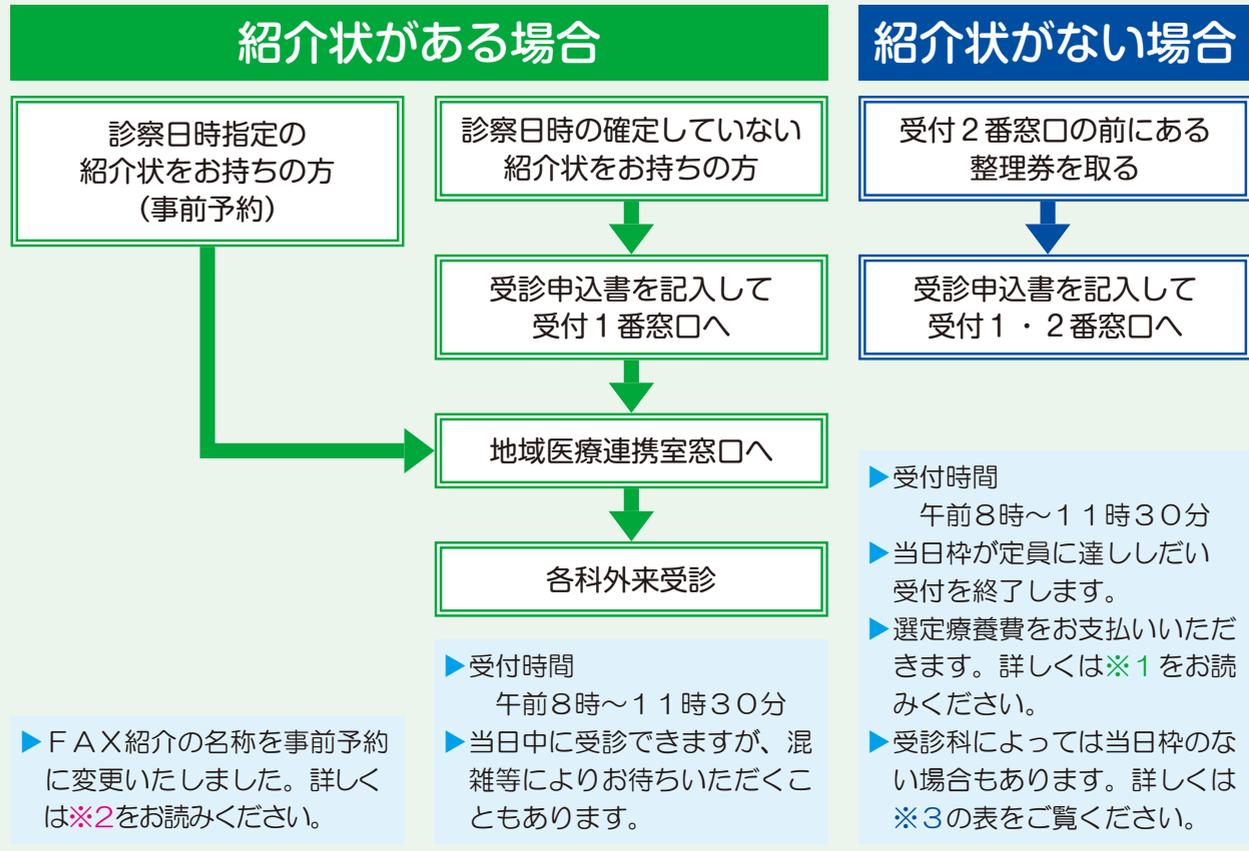
おうめ健康塾

見学会

外来のかかり方 当院を受診する方へー受付の流れについてご説明しますー

- 初診**
- ▶ 当院を初めて受診する方
 - ▶ 前回の診察から1年以上経過している方
 - ▶ 新しい科を受診する方

- 再診**
- ▶ 受診科を1年以上以内に受診したことがある方

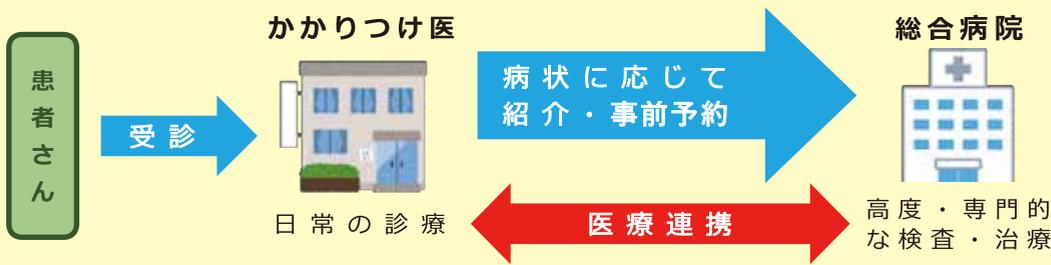


※1 当院は地域医療支援病院の指定を受けているため、他の医療機関からの紹介状を持参せずに当院を受診する場合は、原則として初診時に診察料とは別に5,400円(税込み)をお支払いいただきます。詳細は当院ホームページ内の「当院を受診される方」をご覧ください。

※2 ●事前予約とは

かかりつけ医が、当院の診察予約を電話またはFAXで取ることです。患者さんは、予約時間に来院すればよく、受診時の手続きも簡単です。

●事前予約の流れ



●紹介状をお持ちください

当院は地域医療支援病院として、かかりつけ医との医療連携を推進しています。当院を受診される患者さんには、かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただくことをお勧めします。なお、健康診断、人間ドック、検査等の検査結果表は紹介状としては扱えませんのでご注意ください。

※3 ●整形外科、外科、歯科口腔外科および形成外科の新規患者さんの診療について

診療科	月	火	水	木	金
整形外科	●	▲	▲	●	▲
外科	▲	●	▲	●	●
歯科口腔外科	●	●		●	●
形成外科		★		●	

- …予約や紹介状がなくてもお受けします。ただし、当日枠の人数には制限があります。
- ▲…予約または紹介状がある患者さんのみお受けします。
- ★…予約のある患者さんをお受けします。

●その他特殊外来の診療について

■脳神経センター	予約がない場合は、「受付1・2番窓口」で受付してください。(自動診療受付機では受付できません) 火曜日の脳神経外科は、手術日のため診察がありません。
■乳腺外来	すべて予約制です。予約は外科外来へ、午後1時～5時に直接お越しいただくか、お電話で承ります。
■精神科 ■もの忘れ外来	すべて予約制です。紹介状をご用意のうえ、予約してください。予約は精神科外来へ直接お越しいただくか、お電話で承ります。
■SAS (睡眠時無呼吸症候群) 外来 ■禁煙外来	すべて予約制です。予約は地域医療連携室へ直接お越しいただくか、お電話で承ります。

入退院支援センターを開設しました

平成30年7月「入退院支援センター」を正面玄関をいって左側、薬局前に開設しました。

入退院支援センターは、予約入院する患者さんの事前面談を通して、さまざまな問題を入院前に把握し、安心して入院生活を送れるように支援することを目的としています。医師、看護師をはじめ、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー (MSW) などの多職種の医療スタッフが連携することで、患者さんの入院から退院、そして退院後も視野に入れた支援を提供できるように努めていきたいと考えています。

